



事故を防ぐには…

事故にあってしまったら…



### インナー生地を確認しましょう

保護者は、インナーにメッシュ生地を使用した水着を子どもに着用させないようにしましょう。

水着を購入するときや親族・友人から水着を譲り受けるときは、インナーの生地を確認し、メッシュ生地の場合は、少なくとも穴が空いていることがすぐに分かるものは避けましょう。



### 皮膚が挟まってしまった場合は、無理にとろうとせず医療機関を受診しましょう

水着のインナーのメッシュ生地に陰茎部の皮膚が挟み込まれると、患部が痛みを伴って膨れ、腫れ上がる症状が出ます。無理に引っ張ると痛みが増したり、患部付近のメッシュ生地を刃物などで切り離そうとすると、新たなけがをするおそれがあり、危険です。

患部のまわりを広く切り取り、挟まっているところを残したまま、速やかに小児科、救急科などの医療機関を受診しましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センター公式サイトに掲載しています。  
<https://www.kokusen.go.jp>



最新号やバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー  
<https://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。



独立行政法人  
**国民生活センター**

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2022年 5月発行  
イラスト: 川崎 敏郎

# くらしの危険 Number 367

## 男児用水着のインナー生地を確認しましょう

— 陰茎部の皮膚が挟まり、取れなくなることも —



男児用水着の中にはインナーにメッシュ生地を用いたものがありますが、「水着のインナーのメッシュ生地に、陰茎部の皮膚が挟まり取れなくなり病院へ搬送された」といった事例が寄せられており、2020年にも事故が発生しました。

依然として発生している事故の再発防止のため、水着を購入するなどの際は、インナーの生地を確認し、少なくとも穴が空いていることがすぐに分かるメッシュ生地のもものは避けましょう。

PIO-NET\*1 と 医療機関ネットワーク\*2 には、  
「陰茎部の皮膚が水着のインナーのメッシュ生地に挟まれた」といった事故情報が寄せられています。

\*1：PIO-NET（全国消費生活情報ネットワークシステム）とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのことです。

\*2：消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活において生命または身体に被害が生じた事故に遭い、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集するもので、2010年12月から運用を開始しました。



ケース 1

海水パンツのインナーのメッシュ生地に陰茎部の皮膚が挟まり、海水パンツが脱げなくなりました。

（PIO-NET / 事故発生年月：2020年8月、6歳）

ケース 2

3歳男児の水着を脱がそうとした際、陰茎部の皮膚がインナーのメッシュ生地に挟まりけがをした。

（PIO-NET / 事故発生年月：2018年8月、3歳）

ケース 3

水着を着用してアスレチックで遊んだ。数時間後、水着が脱げず、よく見ると陰茎部の皮膚が水着に挟まっていた。

（医療機関ネットワーク / 事故発生年月：2018年6月、5歳）

ケース 4

海水パンツを脱がそうとしたら痛みを訴え、陰茎部の皮膚の先が挟まって陰茎から出血していた。

（医療機関ネットワーク / 事故発生年月：2017年8月、3歳）

子どもの事故に詳しい医師から、コメントをいただきました。  
国立大学法人富山大学附属病院小児科 種市 尋宙 先生

海やプールで遊んでいるときに、男の子が「痛い、痛い」と言ったら、水着の中を見てみましょう。

水着の裏地のメッシュに陰茎部の皮膚が挟まっているかもしれません。

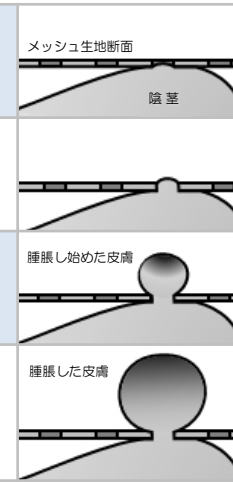
水着の裏地のメッシュに陰茎部の皮膚が挟まる事故は20年以上も前、1998年頃から症例報告があります。

中には、鎮静させてから処置した事例や成人に起きた事例もあります。

事故発生の過程を私の経験から説明します【図解参照】。

図解. 水着のインナーのメッシュ生地に陰茎部の皮膚が挟まり取れなくなる過程

- ① 男児の皮膚が水着のインナーのメッシュ生地に密着すると、伸展性に富んだ皮膚が、メッシュの穴より外部にはみ出し、メッシュから圧迫を受け始めます。
- ② 局所的に小さな静脈が圧迫を受け、採血の際に腕にバンド（駆血帯）を巻いて血流を止めるのと同じような状況となります。
- ③ 外部にはみ出した皮膚では、局所的な静脈還流障害が起こり静脈から水分が漏れ出すことで皮膚が徐々に腫脹（しゅちやう）すると考えられます。
- ④ 外部へはみ出した皮膚が腫脹するとはみ出していく力もより強くなり、また、メッシュが皮膚を強く圧迫して激しい痛みが起こります。このような状態になると、自らメッシュを解除することは難しくなります。



挟まってしまった場合は、無理にはずそうとしたり、患部付近のメッシュ生地を刃物などで切り離そうとしないでください。

子どもが痛がって動き、誤って皮膚などを傷つけてしまうおそれがあります。

濡れている水着は重さもあり、振動などによって痛みが生じてしまうので、患部のまわりのメッシュ生地を安全な範囲で切り取り、挟まっているところを残したまま、小児科、救急科、泌尿器科などの医療機関を受診しましょう。

腫脹程度の創傷であれば、後遺障害はないと思います。

↓メッシュ穴径約2.5×1.8mm大



写真1.【種市医師提供】一症例の男児着用水着のインナーのメッシュ生地

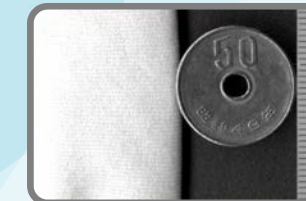


写真2.【参考】穴が空いているとはすぐには分からないニット生地等が使われている男児着用水着のインナー生地

20年以上にわたり、同種の事故が発生しているのは、水着の裏地に穴が空いているとすぐにはわかるほど目の粗いメッシュが使用され続けているからです【写真参照】。

保護者は、メッシュ生地を使用した水着を子どもに着用させないようにしましょう。メッシュ付きの水着を使用する場合、少なくとも穴が空いていることがすぐに分かるようなものは避けましょう。子どもたちは何も間違ったことをしていないのに痛い思いをしています。大人がさまざまな工夫を継続し、子どもの事故を防がなくてははいけません。